

下市町「教育大綱」についてのアンケート結果報告

R2.8 下市町教育委員会

現在の下市町「教育大綱」は平成28年度からの5年間がその期間となっており、今年度が最終年度です。5年間を総括し、次の5年間へと進んでいくため、「教育大綱」に掲げられた「教育における基本方針(全19項目)」についてのアンケートを実施しました。その結果を報告します。なお、この結果は総合教育会議において策定される新「教育大綱」の参考資料とします。

① 学校教育の充実(9項目) 回答者：小・中・こども園教員・保護者 195名回答

| | 項 目 | 良好 | 概ね良好 | やや不足 | 不十分 |
|---|--|---------|---------|---------|---------|
| 1 | 基礎・基本の指導を徹底し、確かな学力をつけることや一人ひとりの可能性や個性を伸ばす教育を進める。 | 14 % | 58 % | 23 % | 3 % |
| 2 | 主体的に学習に取り組み、自律的な生活を送る姿勢を培う。 | 15 % | 56 % | 16 % | 2 % |
| 3 | 地域の教育力を学校教育に活用し、学校・家庭・地域が連携した教育活動を推進する。 | 16 % | 53 % | 25 % | 4 % |
| 4 | 産業をはじめとする地域の特色を見つめる学習を進める。 | 12 % | 58 % | 24 % | 3 % |
| 5 | 人権尊重の心を育成し、自尊感情を育み、いじめ防止等の対策を積極的に進める。 | 11 % | 50 % | 26 % | 8 % |
| 6 | 高度情報化の進展に対応したICT教育を進める。 | 9 % | 43 % | 36 % | 10 % |
| 7 | 障害児の自立を目指し、特別支援教育の充実を図る。 | 21 % | 60 % | 12 % | 2 % |
| 8 | 幼小中の連携を深め、柔軟な教育活動のあり方についての研究を推し進める。 | 13 % | 50 % | 24 % | 10 % |
| 9 | 小中一貫校設置の研究を進め、充実した教育環境の構築を図る。 | 10 % | 39 % | 30 % | 13 % |

② 青少年の健全育成、生涯学習・生涯スポーツの充実、文化財保護と文化・芸術の普及(6項目)

回答者：社会教育委員、人権教育推進委員、スポーツ推進委員、文化財保護委員、
下市小学校コミュニティ協議会構成員 52名回答

| | 項 目 | 良好 | 概ね良好 | やや不足 | 不十分 |
|----|---|---------|---------|---------|---------|
| 10 | 自立した社会性豊かな子どもの育成を促進する。 | 19 % | 58 % | 17 % | 4 % |
| 11 | 社会教育団体との連携や地域人材の発掘を図り、生涯学習の推進と充実に努める。 | 23 % | 40 % | 29 % | 6 % |
| 12 | 人権学習を進め、人権尊重の意識や人権感覚の醸成を図る。 | 27 % | 52 % | 19 % | 2 % |
| 13 | スポーツを通じた町民交流を深め、体力向上や健康増進を図る。 | 37 % | 50 % | 10 % | 2 % |
| 14 | 日本で最初の商業手形である「下市札」をはじめとする町の文化財や歴史遺産に対する学習を深め、文化財に対する認識をより高める。 | 13 % | 40 % | 27 % | 17 % |
| 15 | 町の伝統行事や伝統芸能の保存、継承を進め、さらには、後継者の育成に努める。(初市、丹生の太古踊り、新住のオカリヤ等) | 10 % | 56 % | 19 % | 15 % |

③ 家庭教育の充実(2項目)

回答者：社会教育委員、人権教育推進委員、スポーツ推進委員、文化財保護委員、
下市小学校コミュニティ協議会構成員 52名回答

| | 項 目 | 良好 | 概ね良好 | やや不足 | 不十分 |
|----|---|---------|---------|---------|---------|
| 16 | 教育の原点は家庭教育にあることを基盤にして、「あいさつ」をはじめとする基本的な生活習慣の大切さをふまえながら、望ましい人間関係の構築に努める。 | 17 % | 60 % | 12 % | 10 % |
| 17 | 幅広い子育て支援を行うとともに、家庭及び地域教育力の向上を図る。 | 21 % | 54 % | 17 % | 6 % |

④ 学校教育の環境整備・充実(2項目) 回答者：小・中・こども園教員・保護者 195名回答

| | 項 目 | 良好 | 概ね良好 | やや不足 | 不十分 |
|----|--|---------|---------|---------|---------|
| 18 | 子どもが生き生きと活動する安全・安心な教育施設の改善と整備に努める。 | 16 % | 51 % | 20 % | 10 % |
| 19 | 将来の教育活動にふさわしい小中一貫校の設置を目指す。設置に向けては、さまざまな角度から幅広い研究を推進する。 | 11 % | 38 % | 31 % | 13 % |

<結果の考察> (※ 上記の表の太線の囲みは特徴的な傾向がある部分)

① 学校教育の充実

- 「良好」「概ね良好」を併せて60%以上となる項目が9項目中7項目であった。
- その中でも、「7 障害児の自立、特別支援教育」については81%に達した。教員の良好な対応や特別支援学級への支援体制が、保護者の目に見えやすい状況になっていると考えられる。
- 「6 ICT教育」については、約半数が不足・不十分と回答し、今後の重点課題の一つとなる。
- 「9 小中一貫教育の研究」については、「良好」と「不十分」がはっきり分かれており、保護者への情報提供が不足していると感じられる。ご意見欄に記入する方も、この内容が多かった。

② 青少年の健全育成、生涯学習・生涯スポーツの充実、文化財保護と文化・芸術の普及

- 「良好」「概ね良好」を併せて60%以上となる項目が6項目中5項目であった。
- 特に「13 スポーツを通じた町民交流」については87%の高い数値だった。グラウンドゴルフなどの取組や体育祭など住民向けのスポーツ行事が受け入れられていると考えられる。
- 「14 下市札をはじめとする文化財への認識」については44%が不足・不十分としている。ふるさと下市への愛着を深めるためにも、今後の重点課題となり得る。

③ 家庭教育の充実

- 2項目ともに、「良好」「概ね良好」を併せて75%以上となった。町の子育て支援や、下市町の家庭の教育力については、一定の高い評価を感じている保護者が多い。
- ただ、「16 あいさつ等基本的な生活習慣」については、22%が不足・不十分としており、あたりまえの項目としては数値は高いので、今後も継続して啓発に力を入れる必要がある。
- 「17 子育て支援等」については、23%が不足・不十分と答え、さらに向上の余地はある。

④ 学校教育の環境整備・充実

- 「18 教育施設の整備」については、かなり老朽化した校舎でありながら、67%は特に問題を感じていないが、30%は不足・不十分としており、校舎の新築によって改善されると期待する。
- 「19 小中一貫校の設置について」は、不足・不十分とした人が44%にのぼり、研究して進めようとしている様子が保護者に伝わっておらず、説明不足の感が否めない。最重要課題として捉える必要がある。

以上、特徴的な部分に着目したアンケート項目についての考察ですが、更に精査し、次年度から5年間の新「教育大綱」に生かします。ご協力頂いた皆様、どうもありがとうございました。

記入されたご意見(全員・順不同)一覧

<学校関係で記入された27のご意見>

- 全てにおいて中途半端だと思います。小中一貫において教育施設は大々的に行う必要だったんでしょうか。担任が途中で変わることも解決しないまま中途半端。
- せっかくの小中一貫校になるのですから、しっかりと教育できるように考えてください。
- 教育活動全てにおいて不十分
- 遠くから暑い中歩いている子どもたちの健康の安全を考えて、バスを出す検討をお願いします。
- 回答項目が極端すぎる。どちらとも思わないことについて「？」を付けています。
- 小中一貫校設置の研究を充実させ、特色ある学校作りを目指していただきたい。予定通り小中一貫校を実現させてください。是非ともの願いです。
- 下市町としての小中一貫校としての特色を打ち出してほしい。例えば、「障害児特別支援教育の充実を図るため、施設内に体幹トレーニング室を設けている。」「Withウィルス時代として施設をそれに対応するものとする」等。特に発達障害児の増加や子どもたちの体力低下が進んでいると思われる、施設内のトレーニング室や運動機能増強のための備品等の充実を図ってはどうかと思います。
- (アンケート項目について)どう進めているのか、研究を推進しているのか等に対して回答を求められているが、実態がわからない(どれくらい進捗しているのか、具体的に何をしているのか)ため答えようがないです。
- 日々子どもたちの教育にご尽力いただきありがとうございます。小中一貫に向けて、子どもたちが安全で安心して過ごせる教育環境が構築されるよう切に願っております。どうぞよろしくお願い致します。
- これまでに二度、町教委より小中一貫校についての説明を受けているが、教育上のメリットを感じるような内容ではなかった。小学校内だけでも異学年のトラブル対応は大変なのに、校種をまたいでの対応となるとより難しくなる。また、小学生の方が幼いため、弱い立場になる小学生がいじめや嫌がらせの対象とならないか不安が大きい。小中一貫だからこそできる「特色ある教育」が明確でない。毎年あるアンケートにも書いているが、下市小学校の校舎の造りは誰でもすぐに教室に侵入できるもので安全とは言えない。廊下が丸出し、トイレなんて駐車場から誰でも入れる。小中一貫校を建てるまでの間、何か改善はなされるのでしょうか？
- 連携されているか保護者には伝わりません。連携していただけるとより良い子どもたちの成長につながると思います。
- 小中一貫校について、情報の発信が少ないと思います。子を通わせる親として不安に思うことが多いです。
- 今回のこのアンケートの意味が全くわからないのですが、このアンケートの集計・結果はきちんと報告していただけるのですか？小中一貫の話はたった一度の説明会(ほとんど何も決まっていない状態。ほとんどの答えが研究中、後日改めて…でしたが)のみ、そこから下市町からも教育委員会からも何のお答えも説明もなく、突然アンケートをとられても何を答えて良いのかこちらも正直わからないんですが。これからは今まで以上に教育の現場の声や保護者の声をきちんと聞いて頂き、もっと情報なども開示すべきだと思います。今のままだと信用もこれからの信用もありませんので…。
- 実際どうなのかは、十分に知ることがないので正直よくわからない。
- いつも丁寧に見守っていただいているように思います。下小で良かったと思うことが多々あります。ありがとうございます。
- 今ある校舎(小・中)を立て直してまですることではないと思う。10年後、20年後を考えてみたら今より子どもが減少することが分かるはず。そんなことに税金を使うぐらいなら、子どもたちにもっと手厚い支援(一人一台PC等)をする方が将来的に役立つと思う。現に南小学校は建て直したのに使われていないし、小中一貫校をどうこう言う前にもっとすべきことがあるはず。
- 町外の園へ通っていたり、地域と少し離れたところにいるためか、子どもや友達から学校の様子を聞く範囲でしか知ることがない状態ですが、子どもは楽しく学校へ通っているようです。コロナ対応でも、他に右へならえでなく、下市独自で判断して下さったのだろうなということが伝わり、好印象です。
- 特別支援教育については充実していると思うが、学力等中間以下の生徒の教育に対しては不十分のように思う。
- 小中一貫に向けて動き出すのが遅かったと思います。

- 上記項目の中にある小中一貫校設置については、もっと保護者の意見を聞き、十分な議論が必要と思う。今のままでは不十分!!
- 小中一貫校の設置を進めているのであれば、もっと英語教育を充実させてほしいです。
- 小中一貫になる上で連携は大切であるが、授業担当者が責任を持ってより良いものにしていかなくてはいけないと感じる。
- 小中一貫校については、5年先、10年先のことを踏まえ一考されたし。若年層が住みたくなるような環境を整えて、現在乳幼児をもつ親の意見を取り入れ、小中一貫に対する幅広い意見を聞き、教育環境の整備を願いたい。
- 前の説明会で研究中ですの返答で、その後の結果報告していただけていないのでわからないままです。校舎の完成図を見ただけでは細かいところまでよく分からないです。
- 下市小の校舎建て直しに莫大なお金を使うよりも、南小学校を活用して少しでも教育内容の充実に使って頂きたいです。
- 地域の特色学習について産業だけでなく農林業にも注目してほしい。給食に地元産の食材をメインに使用したり、できる範囲でも行ってほしい。また、子どもたちの健康のためにもう一品でも副菜を増やしてほしい。野菜が少ない。給食メニューの見直し、無農薬・無添加食品の使用なども検討してほしい。
- 引っ越ししてきたばかりなので、全ての項目にお答えはできませんが、こども園に登園するようになり、人の話を聞く等の指導して頂き、我が子の成長を感じているところです。ごんた君広場のすべり台等の遊具は子どものお気に入りなので、ああいった広場が町内にもう一つあれば（もしくは、こども園の遊具の充実）嬉しいところです。
- 幼稚園からこども園に変わり、はじめは不安でしたが、特に不自由さも感じず過ごせているように思います。先生方のお陰です!!
- 小中一貫校設置についての説明会に何度か参加しているが、小と中の校舎が一緒になり、必要経費が減らせるというメリットだけであり、教育的メリットは何も感じられない。校内だけでも学年をまたがるトラブルの解決はとても難しいのに、校種をまたいでのトラブルに対して適切に対処できるのか？発達年齢にも大きな差がある小学生・中学生を同一の校舎で、というのは不安の方がはるかに多い。中学生が小学生をいじめるということも心配である。小中一貫にするにあたって、小中一貫だからこそできる教育的メリット(特色ある教育課程)はどのように考えられているのか？保護者として不安しかありません。毎年アンケートでも書いているが、防犯に対する整備が不十分。改善も全くされていない。

<社会教育関係で記入された8のご意見>

- 伝統行事・芸能の後継者を育てることは大変難しく、各地域で苦勞されている。新住では頭屋(とうや)制度維持のため本年度より有志によるサポートチームが立ち上がりました。約30人が集まり活動を始めました。初市や太古踊りについても地元と下市町が連携して今後の方向を考えてはいかがでしょうか。町には文化連盟もあるのでその方々のお力にも期待したいです。
- スポーツ行事を開催しているが顔ぶれが一緒。地域の体育委員が集めているが、もっと住民が協力できるように考えてほしい。
特色ある「小中一貫校」になることに期待しています。
- 町民全体にはなかなか浸透していない。その所々では頑張っておられるとは思いますが、町全体のものにはなっていない。広め方、ケーブルテレビで流すだけでは不十分。
- 全てにおいて概ね良好に思われます。小中一貫校が更に良い方向に向かうことを願っています。
- (文化財、地域芸能)に関しては地域住民頼みのように思われます。もう少し町民全員に知ってもらうようにすれば関心意欲も高まるのではないかと思います。高齢化が急速に進み難しいところもあるとは思いますが…。
- 社会教育については、全くゼロに等しい状況である。新教育長についても、学校教育長でなく、社会教育長であるとの覚悟をもって勤められたい。
- 現在の下市町の状況が十分に把握できず、アンケートへの回答が難しい。
- 教育等を充実させていくためには、まず人の力(マンパワー)が必要。それには若い人の力が当然必要である。高齢化率が高い当町にあっては、今後若い人が定住・移住してもらえるような環境作りや人材育成が必要だと考える。そして、バランスのとれた町政運営もお願いし、更なる教育の発展を祈念します。

以上